

安全作業手順書【遮音壁ワイヤー取替】

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路 (豊田IC～春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC～飛島北IC, 有松IC～上社JCT)
機器工具 ・車両	クレーン車、インパクトレンチ、 橋梁点検車、清掃用具一式	保護具	ヘルメット、保護メガネ、安全チョッキ、墜落制止用具、 切削作業用手袋、軍手、皮手袋、安全くつ

見積もり基準をした危険性の評価			
重大性(B)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
可能性(A)	○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	△ 中程度 (かなり小さい)	× 極めて重大 (中程度)
△ たまに起こる (1年に1回程度)	△ 中程度 (かなり小さい)	△ 中程度	△ × (かなり大きい)
× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	× 中程度	× 中程度 (かなり大きい)	× × (極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性が見積もり	危険性の評価	危険度	判定
× ×	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では不要なし (但し留意)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分	作業手順・作業内容	急所
準備工	作業確認 作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割(運転手、助手)を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する 使用機械、工具等の点検を行う しらすだん一の動作確認及び点検を行う	作業員全員で 免許証、免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を使用して 作業前に 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする

危険ポイント (～なので～になる)			リスクの見積り			安全対策(危険度2以下へ)			リスクの再見積り			
(A)	(B)	リスク	(A)	(B)	リスク	(私達はどする)	(A)	(B)	リスク	(A)	(B)	リスク
△	×	4	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1	○	○	1
○	×	3	○	×	3	乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する	○	△	2	○	△	2
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
△	×	4	△	×	4	作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う	○	○	1	○	○	1
△	×	4	△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1	○	○	1



車両確認	セーフティーバイブル
作業車両準備	
作業車両点検	
出発準備	
出発	
本作業	規制内進入
車両移動	
停止	
逃走防止	

25.車両回送手順書に則る											
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

準備工	取り替えるワイヤーを確認する 車両から必要機械を降ろす クレーン作業車を配置する	事前に現地調査を行い ①手袋などを着用して ②手・指が挟まれない気をつける。声かけ、合図をして 高所作業車を使用する際は、手順書に則り	取替ワイヤーを間違えて作業時間を無駄にする ①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△ △	×	△ △	3 3	作業員各自が確認して無駄を省く 無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から 車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○ ○	○ △	1 2
遮音壁仮撤去	ワイヤーを撤去するため、遮音壁を仮撤去する	有資格者を選任して	クレーンの吊钩が揺れ、作業員や走行車両に接触する	△	×	△	4	機械使用時は監視員を設け、ゆっくりと動かしに荷振れに十分注意して作業を行う	△	○	2
取替ワイヤー撤去	クレーン等を使用して既設の遮音壁を仮撤去する	①有資格者を選任して ②端部の取り付けナットをはずす ③取り外したワイヤーが共用路面にはみ出る	クレーンの吊钩が揺れ、作業員や走行車両に接触する 無理に外しているとき手を滑らして支柱等に手をぶつける ワイヤーが長いため端部がはみだし一般車に当たる	△ ×	×	△ ×	4 5 4	機械使用時は監視員を設け、ゆっくりと動かしに荷振れに十分注意して作業を行う 初めに潤滑油をスプレーして、適格の道具でゆっくり作業する 必ず両端部を作業員で確保して道路端に仮置きする	△ △	○ ○	2 2 1
ワイヤー設置	両端部を確保してゆっくり声を掛け合いながら支柱間を通して設置する	①ワイヤーが長くても重たいので1人作業は絶対しない ②取付端部のナットは十分に締め付け最後に増し締めする	無理に押し込んでワイヤー端部にネジ山をつぶして取付不可になる 適合してない道具で締め付け時、空振りして手にけがをする	△ ×	×	△ ×	4 5	2人以上で声を掛け合いゆっくり押し込んで作業する 決まった道具を選定して、あわてた作業はしない	○ ○	○ ○	1 1
遮音壁設置	新しい遮音壁を設置する	有資格者を選任して	クレーンの吊钩が揺れ、作業員や走行車両に接触する	△	×	△	4	機械使用時は監視員を設け、ゆっくりと動かしに荷振れに十分注意して作業を行う	△	○	2
発生材片付け	発生材を荷台に横込む	周囲の状況に十分注意して	長物ワイヤーが荷台からはみ出し通行車両に当たる	△	×	△	4	荷台に作業員を配置して下部上部で声を掛け合い作業する	○	○	1
清掃	現場周辺を清掃する	作業道具等忘れ物がないように注意して清掃する	忘れ物道具に乗り上げる車両が発生する	△	×	△	4	作業員、責任者が目視で最終確認する	○	○	1

25.車両回送手順書に則る											
本作業	現場離脱			/	/	/	/	/	/	/	/
	後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/

1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地に	てKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。高さ	つもの時の連絡体制を事前に構築しておく。								
特記	パワーゲートを 使用した荷台積み下ろし	パワーゲートを使い荷台にバルーン等を積み下ろし作業をする時は、積載物の落下またはゲート昇降による手の挟まれ、スライダバーの延伸による足挟まれに注意すること	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと	声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさまれて怪我をする	○	×	3		○	○	1
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3		○	○	1

パワーゲートを 使用した荷台積み下ろし	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、ゲートの昇降する場合は声を掛け合い挟まれないように安全を確保してから昇降させる。	○	○	1
台車を使用する場合	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1